

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【中央公民館】

1 開催概要

開催日時		令和 8 年 6 月 23(火) 19:00～20:20
開催場所		中央公民館 大会議室
出席者	市民	25 名
	行政(市職員)	環境部長 ごみ減量企画室職員 3 名 廃棄物対策課 2 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設	資源循環型施設の施設規模が既存施設の半分以上になるとあるが、納得できない。既存施設を修繕等すればいいのではないか。	周辺の環境負荷を低減するためコンパクトな施設にする必要がある。人口減少によりごみは減少傾向にあり、126t/日は今後の人口予測や環境省の示す稼働日数を踏まえ計算した結果である。また 10%の災害廃棄物も考慮している。 3 クリーンセンターとも老朽化が激しく、多額の修繕費用がかかり、年々増額している状況である。また、突然の故障により稼働不能となるリスクも考え、建設する計画となっている。
2	指定袋	指定袋の燃やせるごみ袋とプラマーク付プラスチック袋で、同じ大きさなのに値段が違う理由は何か。	燃やせるごみ袋は収集運搬にかかる経費を基に、プラマーク付きプラスチックはリサイクルできるため袋の製造原価を基に設定している。
3	排出方法(プラ)	プラマーク付きプラスチックごみは、嵩張ってしまいすぐに袋がいっぱいになってしまうので、細かく裁断して出してもよいか。	プラマーク付きプラスチックごみは細かく裁断して出してもよい。収集後、中間処理施設で圧縮・梱包され、再資源化施設で溶解して新たな製品となるため、裁断はリサイクル工程に影響がない。

4	排出方法 (油容器)	油の入っていたペットボトルはプラマーク付きプラスチックゴミ袋に入れているが、油分を落としてペットボトル回収に出してはいけないのか。	油が入っていた容器はペットボトルマークではなくプラマークが付いているため、プラマーク付きプラスチックゴミとして出してほしい。
5	排出方法 (電池類)	(1)時間があわずにウィークエンドリサイクルや自治会回収に出すことができないので、特に電池類について、家電量販店や市役所等で回収するなど、いつでも出せる場所の設置はできないか。 (2)民間業者で回収している情報はどこかに掲載されているか。	(1)平日日中であれば、有料にはなるが回収可能な民間業者で出すことができる。 (2)市の媒体等での情報掲載はしていない。お問合せいただければ情報提供している。
6	排出方法 (電池類、小型家電)	時間や場所が限られていると回収のハードルが高い。わざわざ市役所へ行くとかではなくて、家電量販店等のようにもう少し手軽に回収できる場所があればリサイクルも進むのではないか。 小型家電の回収についても他市で聞いたことがあるので、検討していただきたい。	一部ホームセンター等で、同等品の購入と引き換えに回収しているところもあるが、貴重なご意見として気軽に出せる方法を検討してまいりたい。
7	最終処分場	最終処分場は、なぜ広域内に設けられないのか。	上田市内で資源循環型施設の建設をするため、最終処分場は上田市以外の市町村(東御市、長和町、青木村)で建設することとなっている。
8	排出方法 (紙類)	雑がみの分別促進に向けて、市で製作する雑がみ回収袋のPRを強化すべきではないか。	製作する雑がみ袋自体がごみになってしまう可能性もあり、今ある在庫を最後に今後は作成しない方針となっている。既成紙袋やご紹介した手作りの袋で細かい雑がみのリサイクルをお願いしたい。

9	排出方法 (プラ)	プラごみは袋に入ればそのままでもいいと説明があったが、「ごみの出し方」のパンフレットに発砲スチロールは細かく砕いて入れることと記載されていた。どちらが正しいのか。	袋に入らない大きなものは細かくして入れることという趣旨であり、袋に入るものであればそのまま入れていただければよい。
10	ぱっくん	上田クリーンセンターまで取りに行かなければならず不便なので、街中など他の場所で配布することはできないか。	環境フェア等のイベント時には配布しているが、現在の配布箇所以外でも配布ができないか検討したい。なお、原材料費の高騰もあり年間製作数が限られているため、大量に配り回することはできないが、大勢の方に利用いただけるよう工夫をしていきたい。
11	違反ごみ	外国人が増えているが、燃やせないごみ袋に生ごみが入っている等ごみの出し方が理解されていない。	毎年春に外国語学校において説明し、外国語でのパンフレットを配布するなど周知を行っている。